

■岩崎久弥 実業家, 拓殖事業家。{三菱}社長退任後は, {モリソン文庫}や内外での総合的農業開拓など社会貢献。

いわさきひさや

薩摩藩士密航1865= 土佐国安芸郡井ノ口村で, 岩崎弥太郎の長男に生まれる。

明治維新・・・1868= 3歳:

明治6年政変 1873= 8歳:

佐賀の乱・・・1874= 9歳:

初の民間工場1875=10歳: 慶應義塾に入学。

大久保暗殺・1878=13歳: 退学し, 三菱商業学校に入学。

明治14年政変1881=16歳:

祖母美和の教えを最も色濃く受け継ぎ, 若い頃から決して奢らず, 他者への配慮を忘れなかった。

岩倉具視没・1883=18歳:

内閣発足・・・1885=20歳: 父が死去。

帝国大学始・1886=21歳: 渡米し,

初の対等条約1888=23歳: ぺンシルヴァニア大学ウォートン・スクールに入学して, 財政学などを学び,

帝国憲法発布1889=24歳:

足尾鉍毒始・1891=26歳: 卒業して, 帰国。三菱社の副社長に就任,

大本教・・・1892=27歳:

郡司千島探検1893=28歳:

日清戦争始・1894=29歳:

*叔父岩崎弥之助とともに三菱合資会社を設立し, その社長に就任,
保科寧子と結婚し, 六義園に新居。コンドル設計による三菱第1号館が竣工し, 本社を丸の内へ移転。以後, 第2号館, 第3号館と続き, ロンドンを彷彿とさせる街並みはやがて“一丁倫敦”と呼ばれるようになる。
銀行部・売炭部・鉍山部を設置。以後, 20余年に事業の多角化をすすめる各部への権限の移譲を断行し, ワンマン・カンパニー的経営体質から近代的マネジメント・システムへの脱皮を実現して行く。

日清戦争終・1895=30歳:

コンドルの設計による茅町本邸が竣工し転居(現在“都立旧岩崎邸庭園”として公開されている)。

白馬会・・・1896=31歳:

八幡製鉄始・1897=32歳:

子規句歌革新1898=33歳:

Bushidou・・・1899=34歳:

田中正造直訴1901=36歳:

この年, 小岩井農場が岩崎家の所有になる

この間, 佐渡・生野両鉍山および大阪製煉所の払い下げを受け, 長崎造船所で{常陸丸}建造を成し遂げるなど事業展開。

日露戦争終・1905=40歳:

満鉄発足・・・1906=41歳:

韓国反日暴動1907=42歳:

アヲキ創刊・1908=43歳:

神戸造船所を開設。
副社長に小彌太を任命。この頃から, 多くの時間を{小岩井農場}で費やすようになり,

朝鮮半島に東山農場を開設。

叔父彌之助が死去。会社職制改革・各部独立採算性を実施。

「牧畜のみならず, 競走馬の育成やホルスタイン牛の酪農製品の製造販売にも注力。農作は燕麦, とうもろこし, じゃがいも, 大豆など。地道な植林事業で, 見渡す限りの荒野だった大地を緑の森に変えて行く。」

韓国併合・・・1910=45歳:

大逆事件判決1911=46歳:

明治天皇没・1912=47歳:

臨時北海道調査課を設け北海道の炭坑開発に着手。

現在の東北本線にあたる上野～青森間の鉄道建設を始め, 山陽鉄道, 九州鉄道, 筑豊鉄道, 北越鉄道などの私営鉄道事業への出資や米作, 発電, 水道事業など, それぞれに時代の役割を果たした。父の時代から交流があったウォルシュ兄弟が神戸で経営していた製紙工場を買い取り神戸製紙所(三菱製紙)を設立。横浜では明治屋, 日本郵船と共に麒麟麦酒(キリンビール)を設立するなど, 起業家への支援も盛んに行った。

民本主義・・・1916=51歳:

ロシア革命・1917=52歳:

ベルサイユ条約・1919=54歳:

原敬首相暗殺1921=56歳:

小彌太に譲って*社長を退任。以後, 事業家としての真面目を発揮し, 社会貢献にも気を配る。

*モリソン文庫を設立。

動植物に対する知識が深く, 農耕・畜産などに熱意をもち, 理想を実現すべく東山農事株式会社を創立。

従来岩崎家が経営してきた韓国の東山農場(米作)・岩手県の小岩井農場(畜産)・北海道の拓北農場(農牧)と三菱合資経営の新潟県下の米作事業を同社に統合, わが国には珍しい大資本経営総合農牧事業の実現。

護憲三派圧勝1924=60歳:

深川清澄別邸(清澄庭園)を東京市へ寄付。モリソン文庫を母体に, 東洋文庫を設立。

さらに海外に進出, 朝鮮で米作・牧畜・林業, 台湾で竹林(パルプ製造)・紅茶・珈琲栽培, スマトラで油椰子栽培とマレー半島でゴム農園など, 邦人経営の大規模な拓殖事業を行ない,

金融恐慌・・・1927=63歳:

*ブラジルで農牧事業を開始。珈琲栽培・牧畜のほか, 現地法人カーザ東山を設立して銀行・商事・地所・紡績・鉄工業など各種の企業に進出し, ブラジル産業界に貢献,

満州事変・・・1931=67歳:

二二六事件・1936=72歳:

日中戦争始・1937=73歳:

健保+総動員 1938=74歳:

駒込別邸六義園を東京市に寄付。

日米開戦・・・1941=77歳:

年金+総武装 1944=79歳: 妻が死去。

敗戦・・・1945=80歳:

新憲法公布・1946=81歳:

極東裁判決・1948=83歳:

*敗戦によりブラジル以外での海外事業は没収され, 雄図は瓦解, 子の小彌太社長も死去,

財閥解体で三菱本社は解散となり, 財閥家族にも過酷な財産税が課されて,

千葉県の末広農場に隠栖,

混血孤児たち救済のためエリザベス・サンダース・ホームを開設した長女澤田美喜の相談にのりながら,

55年体制始・1955=90歳: 末広農場の別邸で没した。

インターネット「mitsubishi.com」,